

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市広瀬文化センター	
2 指定管理者	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団	
3 指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日まで	
4 施設の利用状況	《利用者数》 17,407人（前年度比 39.3%） 平成29年度：29,434人、平成30年度：55,458人、令和元年度：44,238人	
	《事業》 1 併設施設2館連携事業(広瀬図書館共催)「第7回ひろせワクワクシアター」 実施日時：令和3年1月10日(日)1回目10:30から 来場者数 173名 2回目14:00から 来場者数 215名 2 併設施設3館連携事業(広瀬図書館・広瀬市民センター共催)「ひろせ寄席」 実施日時：令和2年11月1日(日)13:00から 来場者 約300名 3 3館連携事業(戦災復興記念館・広瀬市民センター共催)「地域で伝える平和学習」 実施日時：1回目 令和3年1月13日(水) 仙台市立広瀬小学校 2回目 令和3年1月19日(火) 仙台市立愛子小学校	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 107,552千円 (105,333千円) ・ その他市が負担した費用 6,403千円 (3,220千円) 《収入》 ・ 使用料収入 6,105千円 (9,696千円) ・ その他収入 102千円 (112千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和3年2月1日から2月末日までに、文化センター又は市民センターご利用の団体・個人を対象にご利用におけるアンケートを実施し、51の回答を得たほか、受付に設置している「ご意見箱」や利用者には利用毎に「ご意見カード」を配付し、日常的に利用者の指摘や要望、意見などを把握した。また、広瀬市民センターとの共催により、地域団体や利用者の皆様による「ひろせ懇話会」を開催し、地域の各種団体からの意見なども把握に努めた。	

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	オープンスペースを活用した展示「マイギャラリーinひろせ」では、地域の市民の交流を促進し、活動成果を発表する場を提供している(令和2年度の参加実績3件約1,400人)。展示レイアウトの提案や広報等、発表を成功させるための助力を惜しまず、結果、サークル活動の活性化や施設の利用促進に繋がっている。	27/24
II 施設の運営管理体制	定期的な巡回や点検、マニュアル整備等により、施設や利用者の安全に対し特段の配慮を心掛けており、実際に施設内の不具合を早期発見するなど、事故防止に貢献している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	積極的にリサイクルに取り組み、併設施設とともに意識の向上を図っている。施設全体でのリサイクル率は66.6%と高く、今年度から新しい取り組みとしてペットボトルキャップや割り箸の分別も行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	常設のアンケートや意見箱以外に、利用時に記入する「ご意見カード」の配布や、地域懇話会の開催など、より気軽に意見を出せる環境をつくっている。これを活かし、修繕や備品の要望に可能なものから対応し、サービス向上につなげている。	28/28
V 施設固有の基準	併設する図書館、市民センターと連携し、各施設の得意分野を活かした事業として、昨年に引き続き子供向け映画会「ひろせワクワクシアター」や、平成28年度以来の復活イベント「ひろせ寄席～愛子で楽しむ本格落語～」を開催し、子供の情操教育や伝統文化の継承に貢献している。	5/4

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>【施設の使用許可等について】</p> <p>指定管理者として条例等を遵守し、施設の使用許可にあたっては公平・公正に取り扱い、個人情報については貴市・財団それぞれのセキュリティポリシーを遵守するなど、適切に管理しました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症ガイドラインに基づき、臨時休館、施設使用料の還付や減免手続きなど、改訂毎の運営方法や諸手続きを遵守するとともに、ご利用の皆様には情報提供に努め、活動再開の一助となるよう取り組みました。</p> <p>【施設維持管理に関する取り組み】</p> <p>定期的な巡視を行い、事故防止や危険箇所の早期発見等に取り組みました。震度5の地震発生時には、速やかに職員が参集し、敷地及び施設内の破損等の点検や必要に応じた調整を施して、通常開館に備えました。また、地震後の巡視強化により、敷地内に埋設される隣接施設供給の水道管破損の可能性を早期発見し、速やかな関係部署への報告、漏水汲取りや放流作業を行い、隣接施設を含めたご来場の皆様の安全確保に取り組むとともに、業務への甚大な被害の回避に貢献しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染予防対策としては、ドアノブや手摺りなどの消毒を徹底し、手指用及び物品用消毒液や加湿器の常設など、安全面に配慮しました。</p> <p>【自主事業の実施について】</p> <p>事業一つひとつの内容や時期を再考し、感染対策の検討も重ねた上で実施の可否を判断しました。</p> <p>併設施設連携事業の映画会「ワクワクシアター」と「寄席」については、開催日変更のほか、往復はがきやチケット制による受付とすることで、緊急連絡先の把握や来場者数の管理につなげるなど、工夫を凝らして開催しました。</p> <p>一方「サマーナイトコンサート」など複数事業は中止し、「広瀬のひびき」も中止の一事業になりましたが、当事業では出演予定だった複数の地域団体と協力し合い、舞台演奏のほか収録も行って代替上映会とすることができました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>地域唯一の劇場型ホール施設として、地域の文化芸術活動を支援し、その向上に寄与している。「マイギャラリーinひろせ」事業では館内のフリースペースを地域住民の文化芸術活動の発表の場として提供し、積極的に地域の文化振興に貢献し、地域の交流促進の場としても役割を果たしている。ほかにも、併設施設と連携して各施設の特性を活かしたイベントを企画実施し、地域の子どもたちの情操教育や文化活動にも貢献している。</p> <p>また、施設の運営や維持管理についても、条例等を遵守して行われており、利用者が安全に使えるよう定期的な巡回や点検を実施している。さらにアンケートや意見カードを活用したり、新型コロナウイルス感染症の影響による運営状況の変化を積極的に周知したりするなど、利用者の利便性や満足度の向上につながるサービスを提供している。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：青葉区宮城総合支所まちづくり推進課